

成績評価ルール

本授業の最終成績（A+～F）は、以下のルールに基づいて決定されます。必ず最後まで確認してください。

1. 成績評価の概要

最終成績は、次の要素を総合的に評価して決定します。

- ・中間試験（0～100点）
 - ・期末試験（0～100点）
 - ・小テスト（得点率）（0～100点）
 - ・宿題（得点率）（0～100点）
 - ・最終プロジェクト（得点率）（0～100点）
 - ・出席状況（無断欠席・遅刻）
 - ・加点（外部加点・改善加点）
 - ・学術不正（ペナルティあり）
-

2. まず「F」が確定する条件（最重要）

次のいずれかに該当する場合、他の点数に関係なく成績はFとなります。

- ・重大な学術不正（盗用、替え玉受験など）
 - ・換算した無断欠席が6回以上
 - ・期末試験を受験していない
 - ・最終プロジェクトを提出していない
-

3. 遅刻と欠席の扱い

- ・遅刻3回を無断欠席1回として換算します（端数は切り捨て）。

換算例 - 遅刻2回 → 欠席換算0回 - 遅刻3回 → 欠席換算1回

- ・成績計算に用いる「換算無断欠席数」は、次の式で求めます。

$$\text{換算無断欠席数} = \text{無断欠席数} + \lfloor \text{遅刻回数} \div 3 \rfloor$$

4. 総合点の算出方法

各評価項目を以下の比率で合算し、総合点（0～100点）を算出します。

評価項目	割合
中間試験	22%

評価項目	割合
期末試験	33%
小テスト（得点率）	15%
宿題（得点率）	20%
最終プロジェクト（得点率）	10%

5. 出席による減点

- ・換算無断欠席1回につき、総合点から2点減点します。

例

換算無断欠席が2回の場合：総合点 -4点

6. 加点（ボーナス）

加点は総合点に上乗せされますが、欠席状況により上限があります。

6.1 改善加点（伸びボーナス）

次の両方を満たす場合、+3点を加点します。

- ・期末試験 – 中間試験 \geq 15点
- ・期末試験が90点以上

6.2 外部加点

ピアレビュー等の学習活動により、0~5点の加点が付与されます。

6.3 加点の上限（重要）

改善加点と外部加点の合計は、次の上限を超ません。

換算無断欠席数	加点上限
0回	最大6点
1回以上	最大3点

7. 最終点の調整（0~100の範囲）

出席減点および加点を反映した後、総合点は0~100の範囲に収めます。

- ・0未満の場合は0
- ・100を超える場合は100

8. 点数から評定 (A+～F)への変換

最終点に基づき、次の基準で評定を決定します。

評定	最終点
A+	97.0～100.0
A	93.0～96.9
A-	90.0～92.9
B+	87.0～89.9
B	83.0～86.9
B-	80.0～82.9
C+	77.0～79.9
C	73.0～76.9
C-	70.0～72.9
D	60.0～69.9
F	60.0未満

9. 評定に上限がかかるルール（キャップ）

一定の条件に該当する場合、点数が高くても評定に上限が適用されます。（評定を引き上げる方向には作用しません）

9.1 軽微な学術不正

- ・軽微な学術不正（不適切な引用など）がある場合、最終評定は最大でもDです。
- ・なお、最終点が60点未満の場合はFのままでです。

9.2 出席キャップ

- ・換算無断欠席が4回以上の場合、最終評定は最大でもCです。

（本来C+以上となる点数であっても、Cまでに制限されます）

以上が本授業の成績評価ルールです。